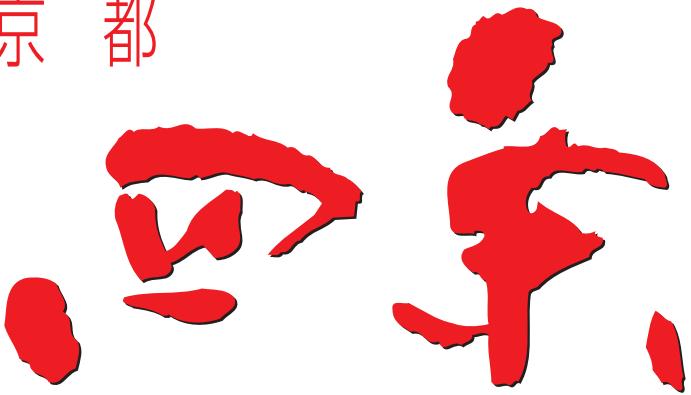


きょうと・じょう

京 都

2018 Vol.55



●特集グラビア

京都商人たちの 明治150年

四条への手紙● 四条繁栄会商店街振興組合 理事長 野村 清孝

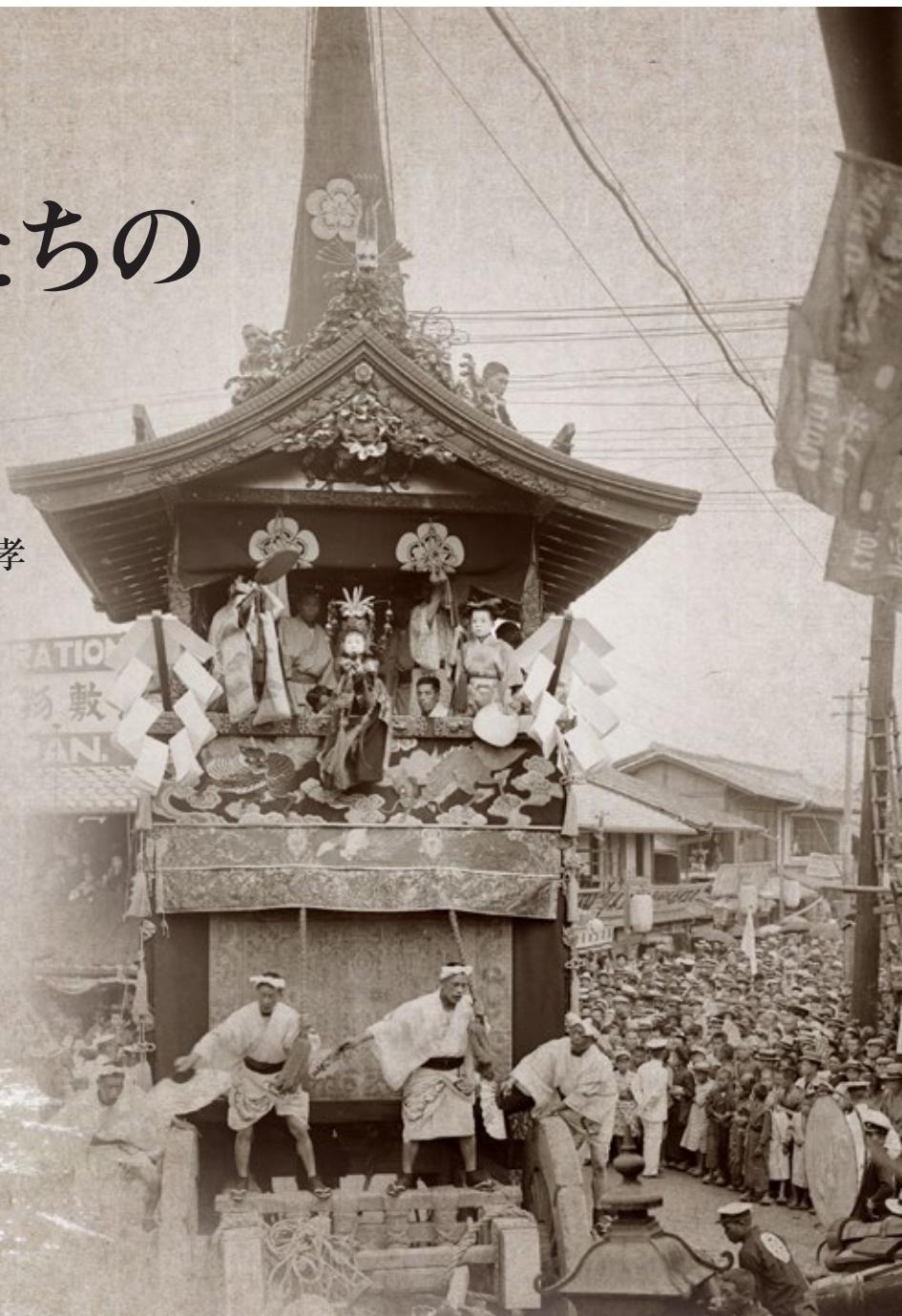
CLOSE UP MISE● PLAZA 京都四条店

私の四条通り● 小丸屋住井 住井 啓子

京洛墨彩● 四条通

四条昔語り● 滝川 一

明治、大正、昭和の四条を彩った
市電が走る懐かしい風景



CONTENTS

京都、四条
2018

四条繁栄会商店街振興組合 設立50周年を迎えて 2~3

■特集グラビア

京都商人たちの明治150年 4~10

CLOSE UP MISE 京都で愛されてきた歴史を大切に、付加価値の高い商品構成で挑む。PLAZA 京都四条店 11~13

コラム・京おんなは知っている、ヒミツの… 京都の人は、本当に「いけず」なのか? 赤城加奈乃 14~15

京都知れば知るほど 京の食文化—五色豆 16~17

私の四通り 伝統とともに守りたい人と人を結ぶ団扇のやさしい風 小丸屋住井 住井啓子 18~21

京洛墨彩 四条通 22~23

コラム四条 #Me Tooあてもどす! 京野 優女 24~25

京都漫歩 和菓子 26

四条の道具 店主たちが手を組み声を張り上げた「えびす講」と、そろいの特売台。四条繁栄会の「特売台」 27~29

四条昔語り 明治、大正、昭和の四条を彩った市電が走る懐かしい風景 滝川一 30~31

四条間わず語り 父の遺してくれたもの ~祇園祭のころに父を想う~／旅人の目、企業人の目、京都人の目 32~33

おこしやす 京の歳時記 34~35

歌舞伎コラム 『西郷と豚姫』 36

PRESENT FOR YOU 37

PHOTO MUSEUM 写真で見る懐かしの四条 市電の敷設と建築中の大丸百貨店 38~39

おもてなし百彩 40~41

インフォメーション四条 42

四条お便りコーナー 43

四条界隈マップ・四条繁栄会加盟店 44~47

表紙／明治中期の四条と祇園祭

写真是先祭の長刀鉾。四条通寺町の角を南へ向けてまがるところで、右に見える旗には「京都ホテル」の文字が染め抜きされていて、ホテルが設置した観覧席に掲げられたものと思われます。奥に延びる寺町通と、交差する四条通はほぼ同じ道幅で、四条通が拡幅される前のようすを写しています。(写真:京都府立京都学・歴彩館蔵／黒川翠山撮影写真資料)



四条繁栄会商店街振興組合

ホームページ

<http://www.kyoto-shijo.or.jp>

E-mail office@kyoto-shijo.or.jp



四条繁栄会商店街振興組合

設立50周年を迎えて



本年秋に私ども四条繁栄会商店街振興組合は、設立50周年を迎えます。この間、高度経済成長期を経て、バブル経済の崩壊、二度の大震災と長引く不況など厳しい状況が続くなか、無事節目の年を迎えることができましたのは、ひと重に四条通へ足を運びご愛顧くださるお客様と関係各位のご厚情あってのことと、改めまして御礼を申し上げます。

京のまちを東西に貫く四条通にあって、四条繁栄会は烏丸から鴨川までのおよそ1kmの間に約250以上の加盟店が立ち並ぶ大規模商店街へと成長してまいりました。歴史をさかのぼれば、平安京の四条大路にはじまり、中世には四条一帯が商工人のまちとしてにぎわっていたことが屏風絵などにも数多く描かれています。明治に入ると東京遷都の逆風にも負けず、四条通にはいち早く電灯が点され、いくつもの洋館が立ち並ぶ近代的なまちに生まれ変わりました。大正中ばには全国に先駆けて店主たちによる自主組織「四条繁栄会」が立ち上げられ、戦後もアーケードの設置

や歩行者天国、共通カードシステムの導入など、時代を先取りした取り組みがたびたび話題となっていました。

そしていま、インターネットショッピングの普及や郊外型大規模商業施設の台頭、小売業へのAIの導入など、時代の変化の波が商店街の前に大きく立ちはだかろうとしています。

そのなかで私たちが取り組むべきもの一つに、販売のプロフェッショナル化が挙げられると私は考えます。人を介さない販売形態が増えたいだからこそ、私たちのような都心型の商店街はその地の利を生かし、「あの人から買いたい」「この店なら信頼して相談できる」という高い販売スキルを付加価値としているはずです。また、face to faceで人と人がつながりあうために、商店街というのはやはり、ちょっとおしゃれをして出かけたくなるような、日常を越えたハレの場であり続けたいと思うのです。

一昨年には京都市による「歩くまち」づくりの事業として、四条繁栄会一帯の歩道が拡幅されました。また、京都市営地下鉄、阪急電鉄、京阪電鉄、バスなどの各駅・停留所が集中する四条通は、京都の玄関口の一つでもあり、現在、地上機器をはじめ地下通路の美装化計画も進んでいます。

50周年を経て、先人たちが築いたまちを未来につなげていくために、また、みなさまがたからの長年のご愛顧に報いるために、今後とも組合一丸となってまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

四条繁栄会商店街振興組合理事長 野村清孝



情報誌四条は
平成2年の創刊。

戦前にも発行されていた
祇園祭の案内冊子。

四条通 近代の歩み

- ▣ 明治5年(1872年) 第一回京都博覧会にあわせ京都で初めて四条にガス灯が設置される
- ▣ 明治7年(1874年) 四条大橋が輸入鉄材を使った鉄製に架け替えられ、観光名所となる
- ▣ 明治45年(1912年) 四条通が拡幅され、市電が開通
- ▣ 大正中頃 「四条繁栄会」結成、その後「四条繁栄商業組合」となる
- ▣ 昭和3年(1928年) 昭和の御大典で四条通でも記念事業などが行われる
- ▣ 昭和8年(1933年) 「四条繁栄会」(登記)
- ▣ 昭和17年(1942年) 四条大橋が現在のものに架け替えられる
- ▣ 昭和26年(1951年) 四条御旅町地区に初代アーケード建設
- ▣ 昭和27年(1952年) 四条新人会結成
- ▣ 昭和33年(1959年) 「こだまで東京へ」キャンペーン
- ▣ 昭和38年(1963年) 阪急電鉄が四条河原町へ延伸
二代目アーケードを組合全地区に建設
- ▣ 昭和44年(1969年) 「四条繁栄会商店街振興組合」設立
- ▣ 昭和45年(1970年) 歩行者天国「四条ひろば」開催
- ▣ 昭和46年(1971年) 戦前にも作られていた祇園祭の案内パンフレットをこの年から毎年発行
- ▣ 昭和47年(1972年) 市電四条線廃止
- ▣ 昭和52年(1977年) カラー歩道完成
- ▣ 昭和56年(1981年) 地下鉄烏丸線開通
- ▣ 昭和59年(1984年) 四条通東洞院地下道開通
商店街として日本初の「キャブテンシステム」始動
- ▣ 昭和61年(1986年) 平安建都1200年記念歩行者天国「四条ひろば」開催
※翌年も開催
- ▣ 昭和63年(1988年) 現在の三代目アーケードが完成。電線地中化
- ▣ 平成2年(1990年) 情報誌四条創刊
- ▣ 平成4年(1992年) きょうと情報カードシステム発足
- ▣ 平成18年(2006年) 合同会社KICS設立
- ▣ 平成21年(2009年) 商店街として初めて緊急地震速報システム導入
- ▣ 平成27年(2015年) 京都市による四条通歩道拡幅工事完成
- ▣ 平成30年(2018年) 組合設立50周年



昭和38年に完成した二代目アーケード。写真は昭和55年のように。



▲大正中ごろの四条繁栄会。御旅所会所にて。▶「創立記念 京都四條繁栄商店組合」と銘の入ったそろばん。



昭和52年、カラー歩道完成パレード。



昭和62年の「四条ひろば」とストリートペインティング。



昭和63年に完成した現在の三代目アーケード。

京都商人たちの 明治150年

東京遷都と産業の近代化

京都の明治維新は、
まさに苦難からのスタートでした。

幕末の蛤御門の変で
市街地の大半が焼かれたうえに
首都が東京へ遷され、京都の人口は
わずか4年で10万人以上減少してしまいます。
そこで立ち上ったのが
京都の商人・産業人たち。
いち早く復興への槌音を
響かせはじめます。

【琵琶湖疏水インクライン】明治18年(1885年)に工事が始まった琵琶湖疏水は、水運、水道、水力発電で京都の近代化に大きく貢献した。写真のインクラインは水力発電を活用して疏水を行き来する船を引き上げる施設で、蹴上にその跡地が残る。(絵葉書資料館蔵)

東京遷都にともなって、多くの有力な消費者層を失った京都のまち。また、それ以前からも他の地域の産業が振興・発展したことで、京都の生産物への需要が減退するという長期的な低落傾向にもありました。

そこで京都府は明治3年(1870年)に理化学・工業技術の研究・普及を目指して「^{せいみきょく}舎密局」を設立。舎密とは、オランダ語のシュミーレ(化学)の当て字で、ガラスや石けん、ビールなどの製造研究、技術者の養成をはじめます。翌年には製品の品種・生産量の拡大や商業の保護を行う「勧業場」も開かれ、染織品や鉄具、革製品、洋紙などのモデル工場が建設されました。そして、目まぐるしい技術革新のなかで、新しい時代を担って立つ企業が次々に誕生していったのです。

島津製作所の創業者である初代島津源蔵は、京都府知事らからの依頼を受け、気球の研究・製造に着手。明治10年(1877年)12月6日、約5万人の大観衆のなか京都御苑内の仙洞御所の広場で軽気球の飛揚に成功し、京都が最先端の産業都市であることを全国にアピールした。

【島津製作所】明治8年創業

仏具職人の次男に生まれた初代島津源蔵が木屋町で理化学器械の製造を始めたのは明治8年(1875年)。資源の乏しい日本の進むべき道は科学立国であるとの理想に燃え、舎密局に入りて新たな技術や知識を身につけます。源蔵から事業を引き継いだ長男梅治郎(2代目島津源蔵)は、後年「日本のエジソン」と呼ばれる発明家で、レントゲン博士によってX線が発見された翌年の1896年に早くもX線写真の撮影に成功。1909年には国産初の医療用X線装置を開発するなど、京都のみならず日本の技術革新の牽引者として発展を遂げ、2002年にはノーベル化学賞の受賞者も輩出しています。



明治28年(1895年)ごろの島津製作所木屋町社屋。



【GSユアサ】大正6年・7年設立

2004年に経営統合された「GS(日本電池)」と「YUASA(湯浅蓄電池製造)」は、会社としては大正の設立ですが、事業のルーツは明治にさかのぼります。日本電池は前述の島津製作所から分離・設立された企業で、島津源蔵が明治28年に日本で初めての鉛蓄電池を製造したことになります。源蔵の頭文字をとった「GS」ブランドは蓄電池事業として大きく飛躍してきました。また、湯浅蓄電池製造を設立した初代湯浅七左衛門は電解化学に関する研究を大正2年(1913年)に現在の堺市でスタートさせ、戦前には日本初の電気バスに蓄電池を提供しています。



のちに湯浅蓄電池製造となった
湯浅鉄工所全景。



会社設立時のGS(日本電池)今出川本社。



明治～大正のころに製造された
上皿桿秤。



創業当時の
石田衡器製作所の社屋。

【イシダ】明治26年創業

明治26年(1893年)、府会議員として琵琶湖疏水開設等の事業に尽力していた二代目石田音吉が、産業の近代化を支える信頼性の高い衡器を提供するため、京都・聖護院に石田衡器製作所を創立。民間初のハカリメーカーとして先進の計量機器の開発・製造を手掛けてきました。近年では、計量だけでなく、包装、検査、表示などの分野に領域を拡大し、世界100カ国以上で事業を展開しています。

博覧会と歐州からの風

幕末の開港以降、日本に
欧米の文化が流れ込み
暮らしや商売にも
大きな西洋化の波が訪れます。
横浜や神戸など港町を中心に
外国人居留地がつくられるなか
京都で度々開催された博覧会には
海外から多くの人々が訪れ、
そこから生まれた国際交流が
産業、教育、文化のなかに
根付いていきました。



【創業当時の京都ホテル（現在の京都ホテルオークラ】京都府が設立した勧業場の跡地が民間に払い下げられ、約3500坪の土地にレンガ館、洋館、日本館などが立ち並ぶ大ホテルが明治23年に完成した。

【京都ホテルオークラ】明治21年創業
明治10年に京都一大阪間の鉄道が開通し、博覧会が盛況となるなか、京都でも大規模ホテルの建設が待たれるようになります。そこで河原町二条の勧業場跡地が払い下げられ、明治23年に「常盤ホテル」が完成。その約5年後に「京都ホテル」と改名され、京都の観光、社交、商談の拠点の一つになっていきました。2002年に現在の「京都ホテルオークラ」と改名。



【第四回内国勧業博覧会】京都の有力商人を中心にして数々の博覧会が行われるなか、東京上野で始まった内国勧業博覧会の第四回を京都へ誘致。遷都1100年にあたる明治28年に岡崎で開催され、平安神宮、美術館、工業館などが建てられた。（大阪府立中ノ島図書館蔵）

京都の復興にとって、重要な役割を果たしたのが博覧会の開催でした。明治4年(1871年)、西本願寺大書院で京都の有力商人たちが主催した博覧会は日本初のもの。その後、商人たちは京都府に働きかけ官民一体の京都博覧会会社を設立し、京都産業の振興に大きく貢献しました。

明治23年(1890年)に琵琶湖疏水の第一期工事が完成した際には、明治天皇臨席のもと記念式典が開催され、それにあわせて京都初の大規模ホテル「常盤ホテル」(のちの京都ホテルオークラ)も完成しました。洋風のホテルは欧米からの商談客や旅行客にとって待望の施設であり、そこを訪れた人々から洋装や洋食、洋菓子の文化が市民の間にも広く浸透していきます。欧米の文化は「新しもん好き」の京都人たちに歓迎され、まちにはそれらを取り扱う店舗が軒を連ねるようになっていきました。

【三嶋亭】明治6年創業
明治に入るまで牛肉を食する文化がほとんどなかった日本。初代三嶋兼吉は、妻とともに横浜で当時流行の牛鍋を学び、明治6年(1873年)に京へ戻って、現在の地、寺町三条で創業しました。三階建ての店舗はそのほとんどが創業当時のままであります。



明治35年(1902年)の北野万燈祭のようす。左が三嶋亭。

【萬養軒】明治37年創業
本格派のフランス料理店として四条通に明治37年(1904年)創業。昭和3年に御所内で行われた御大典の料理を担当して以降、皇室との縁も深く、各国のVIPをもてなしてきました。現在は祇園、京都高島屋に店舗があり、伝統の京野菜をはじめ地場の食材をつかったオリジナルフレンチが人気です。



四条通沿いにあった萬養軒。戦前のようにす。

【村上開新堂】明治40年創業
村上家は奈良時代から宮中に奉仕していた家で、初代清太郎は皇居内の生まれ。日本の洋菓子の草分けといわれる東京開新堂の初代光保は叔父にあたり、そこで西洋菓子を学んだのち、明治40年(1907年)、京都寺町二条に開業します。清太郎は各種博覧会の審査員も務めています。



昭和初期に建てられた洋風の店舗がいまに伝えられている。

四条通、文明開化に湧く

明治維新後、新しい文化が
次々に押し寄せてくるなかで
いち早く時流に乗り、
商いへつなげていったのが
四条の商人たちでした。
ガス灯から電気、水道など
まちが近代化していくなかで
東京遷都で落ち込んだ人口と
人やモノの流れを取り戻そうとする
人々の試行錯誤が
通りを活気づかせました。

【明治中ごろの四条大橋】四条大橋は明治7年(1874年)に輸入鉄を使って架け替えられ「四条の鉄橋」として多くの見物客が訪れた。明治45年(1912年)の市電敷設にあわせて道幅が拡幅され、コンクリートアーチ橋に架け替えられている。(絵葉書資料館蔵)

【京都寺内】創業明治28年／地図①

123年の歴史をもつ宝飾店。現在、烏丸通沿いに京都寺内本店があり、四条河原町に寺内ノースサイドビルがある。



戦前から伝わる暖簾には萬國時計商の文字。

【JEUGIA】創業明治31年／地図②

明治28年に京都で開催された第四回内国勧業博覧会に東京銀座の十字屋が出店。その後、三条寺町に飯店舗を構え、明治31年(1898年)に独立。



創業時の三条の店舗(現三条本店)。

明治創業の四条の店



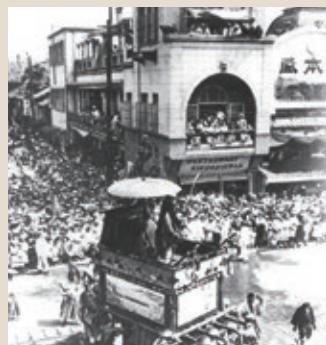
【ぎぼし】創業明治元年／地図③

創業以来、とろろ昆布、出し昆布など昆布全般を取り扱い、高級あられ「吹よせ」でも知られる。もとは四条通に面した麴屋町西入ル南側にあったが、四条通の拡幅で柳馬場四条上ル東側へ移り、さらに現在の西側に移転した。

【みのや】創業明治37年／地図④

京呉服を専門に取り扱い、明治・大正期の博覧会にも出品。宮内庁の御用も務めている。明治から昭和の初めごろまでは現在高島屋があるあたりに店舗があり、百貨店ビルの建設に伴い現在の場所に移った。

明治5年(1872年)、第一回京都博覧会の際に京都で初めてガス灯が設置されたのは、四条、三条、五条の大橋でした。同年、上知令で没収された寺町の各寺院の境内地に新京極が開かれると、芝居小屋が立ち並ぶ繁華街となり、明治7年には四条大橋が鉄橋に架け替えられました。明治16年(1883年)に発行された『都の魁』では、京の主な商工業者を挿絵入りで紹介するなかで、四条界隈だけでも150軒以上の店が掲載され、いまも四条でお馴染みの「桐畠」「ぎぼし」といった名前も見ることができます。明治22年(1889年)に火力発電所による発電で先斗町や四条通を中心に灯火用電力の供給がスタート。2年後には疏水を活用した蹴上発電所が完成し、文明開化の灯に照らされた通りでは、洋館や塔屋のあるハイカラな建物が次々に建てられ、まちは近代化に湧きました。



【林万昌堂】
創業明治7年／[地図⑥](#)
四条・染殿地蔵の門前に店を構える甘栗専門店。
良質の栗を丹念に焼いた味は四条土産の定番。

山鉾巡行の四条通。
中央の洋館の右に
店舗が見える。



宮内庁買上の通知書と
博覧会での入賞証。

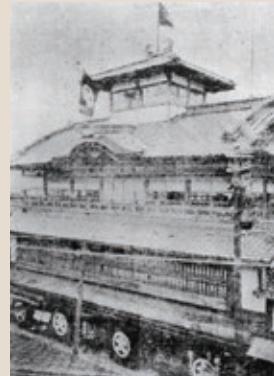


【藤井大丸】創業明治3年／[地図⑤](#)

創業者の藤井キク・太助夫妻が呉服の行商を始めたのが明治3年(1870年)。その後、同24年(1891年)に京都へ出店し、河原町四条上ルに「藤井大丸呉服店」を開業。同28年(1895年)には四条御旅町北側に4階建ての店舗を新築。当時珍しい高層階と銅板葺きの屋根は人々の耳目を引き「四条のあかがね御殿」と呼ばれた。市電が開通する2カ月前の同45年(1912年)4月、現在の場所に、鉄骨3階建ての洋館が新築され、百貨店構想をスタートさせている。



明治45年に鉄骨三階建ての洋館に。



▲明治28年、あかがね御殿と呼ばれたところ。
▼四条出店当時の明治24年。



【十三や】創業明治8年／[地図⑦](#)

古来、女性の髪に最適とされる「つげ」の櫛の御調製処。もとは武家だったという竹内家が明治維新とともに大阪和泉から京都へ移り、櫛商を始めたのは明治8年(1875年)。農家が丹精して育てた樹齢30年ほどの木を選んで製材し、燻蒸したあと10年寝かせて乾燥させるという手間暇かかる工程をいまも続けていて、初代治三吉から現在の六代目に至るまで、伝統的な製法を守っている。

【京料理 田ばと】

創業明治4年／[地図⑧](#)

蕎麦店として創業。料理名人と呼ばれた三代目によって戦中に新京極錦上ルから現在の四条通に店を移し、現在に至る。

【伊と忠】

創業明治28年／[地図⑨](#)

創業の地は京都室町。昭和22年(1947年)、四条通に本店を構え、創作京履物の店として広く知られる。

【京料理たにぐち】

創業明治初期／[地図⑩](#)

明治初期に果物店として創業。現在は旬の味を楽しめる京料理の店として親しまれている。



伝統的な京櫛づくりを受け継ぐ
六代目の竹内量平さん。

明治末の市電開通から大正、昭和、平成へ

明治末、京都市電が開通するのにあわせて四条通が広く拡幅されます。石畳が敷かれ、線路が敷設されると通りにはそろいの街灯が設置されまちは一気に生まれ変わりました。近年、歩道が拡幅された四条の通りは、また新たな時代を迎えるようとしています。



明治45年、市電が敷設された
当初の四条通のようすと思われる。
(京都府立京都学・歴彩館蔵)

琵琶湖疏水を利用して生み出される電力を使い、明治末に京都市が市電を敷設することを決めます。第二疏水の開削、上水道の整備とあわせて「京都三大事業」と呼ばれた政策で、京都のまちの近代化は一層加速します。

四条のまちも、明治45年の市電開通にあわせて通りが広げられます。それまで大手の銀行などは東海道の起点である三条通を中心に多くが店を構えていましたが、市電の開通で四条通にも大手金融機関が軒を連ねるようになり、藤井大丸、大丸百貨店などが大規模な洋館建築に生まれ変わりました。

市電の開通から100年を経たいま、四条通は歩道が拡幅され「歩くまち」を目指した新たな一步を踏み出しました。明治の人々の意気に負けないまちづくりが、いま求められています。

【大丸百貨店から見た四条通の山鉾巡行】

市電の開通と同時に、新しく建てられた大丸京都店。
そこから祇園祭の山鉾巡行でにぎわう四条通を撮影したもの。
(絵葉書資料館蔵)



京都で愛されてきた歴史を大切に、 付加価値の高い 商品構成で挑む。

PLAZA 京都四条店



はんなりとした京都情緒をさり気なく忍ばせつつ、スタイリッシュなムードを放つ店内。



© 2018 A.T. & T.T.

「かまわぬ てぬぐい」のバーバパパの
イラストを丈夫な帆布にプリントした、
一澤信三郎帆布製作のトートバッグ。

四条という目抜き通りに 路面店として再スタート

店舗数が多く、人通りの多い四条通は、時と共に少しずつその姿を変えていきます。ここにまた一つ、注目すべきお店が新しい形となって出現しました。これまで藤井大丸の地下にあった「PLAZA（プラザ）」が、本年4月20日に路面店としては13年ぶりに復活したのです。

四条通に面したエントランスには、ニューヨークの街角で見かけるような店名をあしらった小粋な

フラッグがたなびき、焦げ茶色のどっしりとした扉は京都らしい格調を表現しています。といっても、入りにくいという雰囲気はなく、清潔感のある白い壁と、アクセントのような黒いアーチの装飾を施した店内の様子が外からも眺められ、そのインテリアの妙味に惹かれます。

そして、地元の人から観光客まで多様な人々を集めめる四条通というまちの特性に留意し、京都らしさを大切にした商品展開にもスポットが当てられています。多様なバラエティストアが次々に登場するなか、PLAZAの新しい挑戦を探ってきました。



「四条繁栄会商店街の賑わいの一助となるよう、
私自身京都を楽しみながら
店づくりを進めていきたいですね」と、
店長の宮崎研一さん。

ソニープラザからPLAZAへと、ため込んだ実力がいま試される

1966年、東京・銀座の数寄屋橋にあったソニービルに「ソニープラザ」の名で第1号店がオープン、PLAZAの歴史はここから始まります。当時、ソニーの副社長だった盛田昭夫氏が、国内では珍しかったアメリカンスタイルの雑貨店を作りたいと考え、実現させたのですが、それが現在では全ストアブランドあわせて130店舗を超えるまでに。京都では1976年、四条河原町北西角のユーハイムビルに、全国で9番目の店舗としてお目見えしました。古都に現れたアメリカンな雰囲気のお店は、当時の京都っ子を興奮させたようで、ワクワクしながら輸入雑貨を買い求めたという経験をもつオールドファンも多いことでしょう。

その初代路面店から40年以上の時を経て、再び路面店として生まれ変わりました。PLAZAを運営する株式会社スタイリングライフ・ホールディングス プラザスタイルカンパニー販促宣伝部の東郷一胤さんは「創業から50年を過ぎ、再び四条の目抜き通りに路面店として出店したのは、一つの挑戦です。商業ビルのテナントという庇護から離れ、



エントランス付近には、京都四条店限定アイテムがお目見え。「京」の文字のサインボードも目に入ってくる。

集客も含めてPLAZA自身の実力が試される…だからこそ、ここを関西の旗艦店としてとらえ、さまざまなアプローチをしていきたい」と語ります。

その目玉となるのが、ご当地限定グッズ。京都を意識したデザインや素材を用いた商品のコーナーが店内の随所に設けられています。一澤信三郎帆布やおたべなど地場メーカーとのコラボレーションによって生まれた商品をはじめ、PLAZA各店でも人気のフランス絵本キャラクター「BARBAPAPA（バーバパパ）」に京都のティストを加えた商品ほか、話題性の高いラインナップを揃えました。さらに、京都滞在中の旅行者をサポートする、便利なトラベルサイズのコスメ「トラベル&トライアル」なども充実させ、観光客のニーズにも応えています。

オリジナリティと見せ方にこだわり、多くの人が集う面白い店に

オープン時にはノベルティを配ったりイベントを催したりして、賑やかに、新しくなったPLAZAをアピールしました。「けっこうポテンシャルがあるなと感じましたが、継続して



▲舞妓さんをイメージし、ウッドを効かせたクチデザインのハンカチ。遊び心のわかるオナ世代におすすめ。

►二重壁真空断熱技術を採用したHydro Flask（ハイドロ・フラスク）のワイドマウスピル。人気のイラストレーター WALNUTさん（右）と気鋭のスタンプラー nanaさん（左）によるアートに注目!

立ち寄っていただくためには、お店の元気や活気が不可欠です。セレクトした商品や店のあるべき姿を、いかに“編集”するかがポイントになると思っています」と、東郷さん。また、店長の宮崎研一さんからは、「ソニープラザ以来の京都の根強いファンの方々や、若年層のお客様、京都を訪れる観光客にも“いろいろなものがあって面白い!”と、PLAZAの奥行きを感じていただけるよう、今後もオリジナリティあふれる商品開発を進めていきたいですね。祇園祭のときだけでなく、四条通が土・日曜・祝日も歩行者天国になれば、話題性がアップし、商店街全体の集客にもつながるのでは?」という提案も飛び出しました。

ゆったりとした通路が設けられた約89坪の京都四条店。そこには、PLAZAのなかでもとりわけシックな雰囲気が漂っています。その独自性を貫きながら、人々のハートをつかむ新鮮な情報やクオリティの高いモノ、行けば何か面白いものに出会えるというイベント感も重視したいとのこと。付加価値というキーワードから生まれる多様な商品展開や催事に注目してみたいところです。



▲オープニングイベントでは、スタンプラーー nanaさんを迎えた「スタンプバー体験コーナー」が多くの方の足を止めた。



▼充実のコスメコーナー。宇治茶エキスや、京都伏見の銘酒「月の桂」の酒粕や発酵エキスを配合した商品、外装に京都っぽさを取り入れた商品など、コスメの限定アイテムも登場。

ひと口サイズの小さな生ハツ橋「こたべ」を、キュートなバーバパパのデザインを施したパッケージで。

© 2018 A.T. & T.T.



PLAZA 京都四条店

京都市下京区四条通寺町西入ル奈良物町363

TEL.075-255-4433

【営業時間】10:30~20:00 【休業日】不定休

【URL】<https://www.plazastyle.com/>



COLUMN

京おんなは知っている、
ヒミツの…



京都の人は、本当

「京都の人」というと、たいてい「意地悪」なイメージがつきまとう。本音と建前を使い分け、相手を褒めているようで実は貶している「いけず」な人とされているからだ。これは京都商人も同じで、お客様を選び好みし、好きでない相手には真綿で首を絞めるような嫌味をちくりと言うとされる。だが本当だろうか？

これまで実に多くの京都商人と出会ってきたが、私の知る限り本物の京都商人は、このようなイメージとはかけ離れている。実際はオープンマインドで親しみやすく、新しもの好きなバイオニア精神にあふれた人たちだからである。もちろん、中には「いけず」な人もいるだろうが、そんな人はごく少数だ。

例えば、京都では100年を超える老舗企業が多い。これも時代の流れに応じて、どんどん新しいことにチャレンジし続けたからこそ生き残っているのであって、伝統だけを重んじているだけでは生き残れない。だからこそ、彼らは新しいものへの好奇心が旺盛で、チャレンジ精神も人一倍ある。

確かに、京都商人はお客様にもマナーを要求する。だがそれは、京都商人とお客様が末永く気持ち良く述べ合いできるようにするためにである。そもそもお金を払えば何でも要求できるというのは、ちょっと違うのではないかと思う。京都商人は、お客様へリクエストを出す分、共感できるお客様からのリクエストには必死で応えようとする。つまり、自分たちの地道な努力も忘れない人たちなのだ。

とりわけ、京都商人は熱心な若者に対しては親切で懐が深い。

に「いけず」なのか？

私はまだ何の実績もなかった20代の時に、京都商人たちから、たくさんの貴重な機会を提供され、かけがえのない体験をしてきた。そのおかげで今がある。そんな私も40代になったが、つい先日も京都商人と京都人のサポートの手厚さを改めて実感した。私は今、京都大学経営管理大学院生なのだが、京大にはデザインスクールというリーディングプログラムがある。デザインスクールとは、ものすごく簡単に言うなら専門性がありつつ、異分野にも詳しい領域横断的な発想で、様々な人と協働し、世の中にある複雑な社会問題を解決できるリーダーを育てようというプログラムである。このデザインスクールのプログラムで、香港と台湾からの学生と協働で、京都でフィールドワークを行うことになった。テーマは景

観と教育の2つ。そこで、景観問題については京都都市の産業観光局の上田局長と四条繁栄会の野村理事長が即答で快諾してくださいり、景観についてのレクチャーと質疑応答の機会をくださった。その際、四条繁栄会の事務所も快く貸してくださいり、本当にありがた



かった。もちろん、アジアからの学生はとても喜び、感激していたのは言うまでもない。彼らは、トップにいる人たちがこれほど親切でフレンドリーに接してくれることに、心底驚いていた。忙しい中でも、協力を惜しまず若い人たちのリクエストに応えてくれる懐の深さとフレンドリーさ。それこそが本当の京都人であり、京都商人の姿なのである。

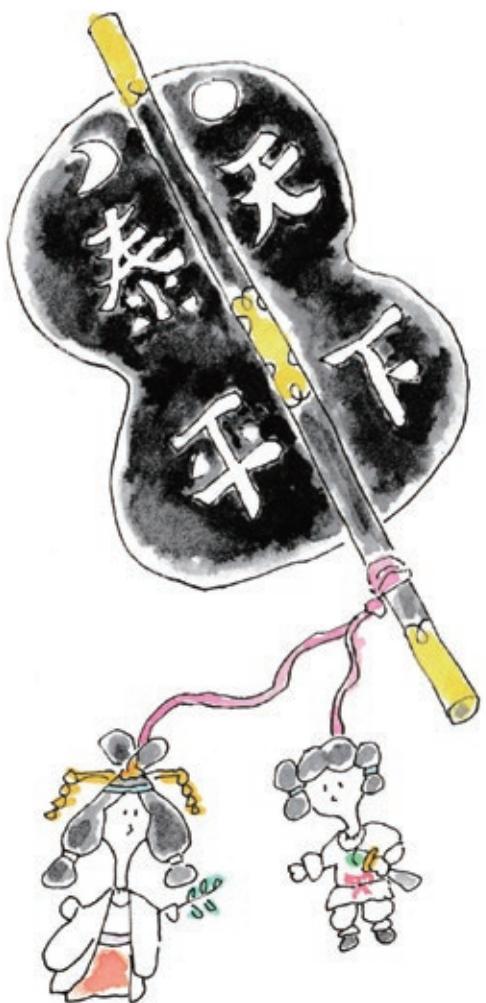
また、この時は御所東小学校にも大変お世話になった。開校式の直前にもかかわらず、村上参与、藤本校長、高橋教頭、教育委員会の田中課長が勢ぞろいしてくださり、教育についてのレクチャーとスクール見学をさせてくださいました。アジアからの学生は、子供たちの才能を引き出すための様々な仕掛けやアイデアに驚き、またフィンランドの教育や充実した英語環境、プログラミング教育の導入など、今までにないチャレンジングな方針について熱心に聞き入っていました。

京都人や京都商人の実像は、かなり誤解されていると思う。実際は、いざという時とても頼れる存在だからである。それだけでなく、次世代を育てるこにも熱心な人たちだ。「京都の人はいけず」は、ある意味で存在する。けれども、京都愛にあふれた京都人や京都商人は、熱心な若者には手厚いのも事実だ。私は今も昔もそんな京都人と京都商人の大ファンである。

文：赤城加奈乃（あかぎかなの）

イラスト：たつみ まさる

M e T O O
あてもどす！



なんかほんまに、生きにくい時代になったなあと、世の男はんたちはそう思うてはるのと違いますやろか。去年、イギリスの政界でも Me Too運動が大きなムーブメントになっていて、女性ジャーナリストに対するセクハラが原因で、国防大臣が辞任しあつたそuds。また、アメリカでもハリウッドの大物映画プロデューサーが女優さんたちからセクハラで訴えられはつた。

そこにきて、日本でも財務省のお偉いお方がその社会的地位を利用して、情報をあげるからと女性の記者さんを呼び出さはつてセクハラだす。女性と見たら口説かなあかん、と思うたはる『昭和の遺物』みたいな世の男はんは大きな勘違いだすえ。

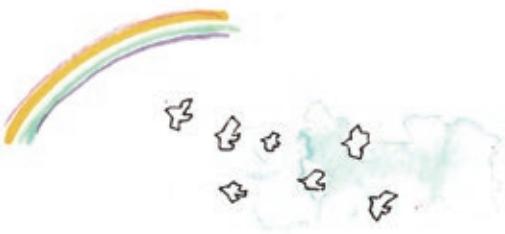
好かんなあ、と思うていても、いやらしいこと言わはつても、仕事やからと我慢してたんどう。そこで、女性の記者さんは上司に相談しあつたんやけど、訴えたらあんたが傷つくだけ、とかなんとかうまいこと言わはつたんと違いますやろか、結果、会社としての対策はしてくれはらへんかった。

こんな場合、これまでほとんどのおなごはんたちはずっと泣き寝入りしてたんどう。そやけど、この記者さんはあっぱれどす、勇気がありました。ほんまに我慢できひんかったんどすなあ。これでは埒らちが空かんと、あの有名な某週刊誌に情報をリークしあつた。

ジャーナリストが情報を横流しするなんて、とか、呼び出されたからと言って、女が夜に出掛けたからやとか、あれはハニートラップや、また、はめられたとか誹謗中傷する強面こわもての大臣もいはりました。だいたい男はんがそんな程度の低い認識やから、日本は男女格差が世界144カ国中114位の後進国などすえ。

そういうたら、どこかの市長さ





んが挨拶の途中、土俵で倒れはった。応急処置のため、女性の看護師さんが土俵に上

がらははったんやけど。そこで場内アナウンスが大問題になってましたなあ。人の生命が係っているのに、女性は土俵から降りてください！と相撲関係者の方がアナウンス。土俵は女人禁制。伝統は守らんとあかん。そやけど、時と場合によりますやろ。神さんかて、わかつてくれはるし、許してくれはるやろ。わかつてへんのはマニュアル人間になってしまっている相撲関係者たちのほうどす。

土俵の女人禁制は女性差別やと、たびたび問題になってますけど、なぜ、女人禁制としたのかには宗教と結びついた歴史的なさまざまな理由があるんやうどす。たとえば、『遠野物語』に出てくる遠野三山伝説では、早池峰山と六角牛山はそれぞれ人の女神が住んだ山。熊野三山周辺でも山そのものが女神で、女人禁制にしたのはその女神が嫉妬するからなんやうどす。卑弥呼に代表されるように、そういうたら神さんを祭る資格の多くは女性どす。女性が穢れているからという説で女人禁制が取り入れられたのは男尊女卑が広まった江戸から明治時代にかけてのことなんやうどす。

あても、人のことばっかり言うてんと、もっといろんなことを勉強して、深く相手の事がわかるように自分の頭で考えんとあかん。けど、忖度しすぎるのもねえ…。

今の世の中は安心、安全、コンプライアンスを求めるあまり、何か雁字搦めになっていて、時代の閉塞感とでも言うのどすやろか、ほんまに自由に息がしにくい。昔はよかったですはる男はんの気持ち、ちょっと#Me Tooどす。平成からどんな年号になるのか、朝鮮半島にも新しい時代が来そうな予感、期待したいもんどうすなあ。

京野優女(きょうのやしょぬ)

和菓子

●作者プロフィール
辰巳 優 (たつみ まさる)
1951年(昭和26年)京都生まれ
1992年 読売国際漫画大賞優秀賞
1993年 ユーモア広告大賞ビジュアル賞
1994年 飛騨高山漫画フェスタ入賞
1998年 長野五輪四文字熟語漫画最優秀賞



一口に和菓子と言ってもその種類、多様性には驚くばかり
饅頭、餅菓子、落雁、煎餅、最中などなど。

その姿、味、形も日本文化と伝統を意識した系譜をたどり、
「和菓子進化論」が発表されても不思議ではありません。
お茶の席で出されるお菓子などは、すでにインスタ映えを
先取りした美しさと、「うまい!」などと口にすることさえ
憚られる気品を兼ね備えています。

改めて和菓子を食せる幸せを考えたいものです。

仰げば尊し和菓子の恩。感謝。



京の創作和菓子

金平灯



自然発光糖で低カロリー

咲くら餅



お花見のデザートに

焼き餅



ほどよい焼き加減が絶妙

く り ようかん
庫裏洋館



栗羊羹 デザイン部門金賞

みたらし
御足洗
団子



FIFA未公認 期間限定商品

こもちあゆ



ぎゅうひ 求肥の子餅増量 縁起菓子

みなづき
皆好



お子様人気 NO. 1

おひやす 京の歳時記

京都には、長い歴史と文化から育まれた
季節感のある祭りが多くあり行事が営まわれています。
その中から、京都をより知り、味わえるよう
6月から12月までの祭と祭事を選びました。
*日程／場所／最寄り交通機関／問い合わせ先（変更になる場合がございますのでご注意ください）

6月 水無月

■鴨川納涼床

~9月30日（期間は店により異なる）／鴨川西岸 二条～五条／
<http://www.kyoto-yuka.com/>

■貴船の川床（かわどご）

~9月30日（期間は店により異なる）／貴船川沿い
☎075-741-2016（貴船観光会）



鞍馬寺竹伐り会式

■あじさい苑公開

6月上旬～7月上旬（予定）／
藤森神社／JR「藤森」／
☎075-641-1045

■竹伐り会式

20日／鞍馬寺／畠山電鉄「鞍馬」／
☎075-741-2003

■夏越大祓

30日／野宮神社／
JR「嵯峨嵐山」／
☎075-871-1972

7月 文月

■祇園祭

1日～31日（17日／前祭山鉾巡行、神幸祭、24日／後祭山鉾巡行、
花傘巡行、還幸祭ほか）／☎075-752-0227（京都市観光協会）

■七夕祭

7日／地主神社／市バス「清水道」／☎075-541-2097

■バス酒を楽しむ会（先着300名）

13日／三室戸寺／京阪「三室戸」／
☎0774-21-2067

■御田祭

15日／松尾大社／市バス「松尾大社前」／
☎075-871-5016

■お涼み神楽

20日／城南宮／市バス「城南宮東口」／
☎075-623-0846

■みたらし祭

20日～29日／下鴨神社／
市バス「下鴨神社前」／
☎075-781-0010



祇園祭

8月 葉月

■陶器まつり

7日～10日／五条通（東大路～五条大橋・若宮八幡宮）／市バス「五条坂」／
☎075-541-1192（竹虎堂株式会社内五条坂陶器祭運営協議会）

■萬燈会厳修

8日～10日／六波羅密寺／市バス「清水道」／
☎075-561-6980

■精霊むかえ・六道参り

8日～16日／千本釈迦堂／
市バス「上七軒」／☎075-461-5973

■千日詣り

9日～16日／清水寺／市バス「清水道」／
☎075-551-1234

■大文字送り火

16日／京都五山

■例大祭・小山郷六斎念佛

18日／上御靈神社／地下鉄「鞍馬口」／
☎075-441-2260



清水寺千日詣り

9月 長月

■宇治川・鵜飼

~9月30日／宇治公園・中の島、塔の島周辺／京阪電車「宇治」／
☎0774-23-3334（宇治市観光協会）

■重陽の行事・烏相撲

9日／上賀茂神社／市バス「上賀茂御園橋」／☎075-781-0011

■萩まつり

第3または第4日曜前後／梨の木神社／市バス「府立医大病院前」／
☎075-211-0885

■神苑の無料公開

19日／平安神宮／市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」／
☎075-761-0221

■晴明祭

23日・24日／晴明神社／市バス「一条戻り橋」／☎075-441-6460

■櫛まつり

24日／安井金比羅宮／市バス「東山安井」／☎075-561-5127

10月 神無月

■秋季金比羅大祭

1日~8日／安井金比羅宮／市バス「東山安井」／☎075-611-0559

■今宮神社例大祭・前夜祭

8日、9日／今宮神社／地下鉄「北大路」／☎075-491-0082

■笠懸神事(流鏑馬神事)

15日／上賀茂神社／市バス「上賀茂神社」／☎075-781-0011

■船岡大祭

19日／建勲神社／

市バス「建勲神社前」／

☎075-451-0170



時代祭

■時代祭

22日／京都御所～平安神宮／

☎075-752-0227

(京都市観光協会)

■鞍馬の火祭

22日／由岐神社／叡山電鉄「鞍馬」／

☎075-741-4511 (火祭テレフォンサービス9/1～10/末)

11月 霜月

■火焚祭

8日／伏見稻荷大社／JR「稻荷」／

☎075-641-7331



正覚庵筆供養

■うるしの日法要

13日／虚空蔵法輪寺／

市バス「嵐山・中之島公園」／

☎075-862-0013

■報恩講

21日～28日／東本願寺／市バス「烏丸七条」／☎075-371-9181

■筆供養

23日／東福寺山内 正覚庵／京阪「鳥羽街道」／☎075-561-8095

12月 師走

■献茶祭

1日／北野天満宮／市バス「北野天満宮前」／☎075-461-0005

■成道会法要・大根焚き

7日、8日／千本釈迦堂／市バス「上七軒」／☎075-461-5973

■けら詣り

31日／八坂神社／市バス「祇園」／☎075-561-6155

ART

場所／日程／休館日／料金

*都合により変更になる場合がございます。悪しからずご了承ください。

●大丸京都店 大丸ミュージアム(京都)(6階) ☎075-211-8111

■写真展「岩合光昭の世界ネコ歩き2」

8月1日(水)～13日(月)／10時～20時、最終日は17時まで(いずれも入場は閉場の30分前まで)／一般800円他

■薄桜鬼展

8月15日(水)～20日(月)／時間は未定／一般1,800円他(予定)

■「すみっこぐらし展」

9月12日(水)～9月24日(月・祝)／10時～20時、最終日は17時まで(いずれも入場は閉場の30分前まで)／10時～20時、最終日は17時まで(いずれも入場は閉場の30分前まで)／一般500円他

■「新世代いけばな展2018」

11月1日(木)～6日(火)／入場時間と入場料は上記と同じ

●高島屋京都店 グランドホール(7階) ☎075-221-8811

■高校野球100回記念展

7月18日(水)～30日(月)／10時～20時、最終日は17時まで(いずれも入場は閉場の30分前まで)／無料

■チャギントンランドMINI サマーフェスティバル in Kyoto

8月1日(水)～13日(月)／入場時間は上記と同じ／一般500円他

■大和円照寺 山村御流いけばな展

8月29日(水)～9月3日(月)／10時～19時、8月31日、最終日は17時まで(いずれも入場は閉場の30分前まで)／無料

●京都国立近代美術館 ☎075-761-4111

■生誕150年 横山大観展

～7月22日(日)／火～木・日曜 9時30分～17時 ※ただし6月30日までの金曜・土曜は20時まで、7月6日～7月21日の金・土曜は21時まで(いずれも入館は閉館の30分まで)／月曜休館 *ただし7月16日(月・祝)は開館、翌7月17日(火)は休館／一般1,500円他

■パワハウスへの応答

8月4日(土)～10月8日(月・祝)／火～木・日曜 9時30分～17時 ※ただし会期中の金・土曜は21時まで(いずれも入館は閉館の30分まで)／月曜休館 *ただし9月17日(月・祝)～9月24日(月・祝)・10月8日(月・祝)は開館、9月18日(火)・9月25日(火)は休館／一般430円他

■生誕110年 東山魁夷展

8月29日(水)～10月8日(月・祝)／開館時間・休館日は上記と同じ／一般1,500円他

■没後50年 藤田嗣治展

10月19日(金)～12月16日(日)／火～木・日曜 9時30分～17時 ※ただし会期中の金曜・土曜は20時まで(いずれも入館は閉館の30分まで)／月曜休館／一般1,500円他

●京都国立博物館 ☎075-525-2473

■特別展 京(みやこ)のかたな 匠のわざと雅のこころ

9月29日(土)～11月25日(日)／火～木・日曜 9時30分～18時、金・土曜20時まで(いずれも入館は閉館の30分前まで)／月曜休館 *ただし、10月8日(月・祝)は開館、翌10月9日(火)は休館／一般1,500円他

■特集展示 新収品展

～7月16日(月・祝)／火～木・日曜 9時30分～17時、金・土曜20時まで(いずれも入館は閉館の30分前まで)／月曜休館*祝日の場合は翌日休館／一般520円他

■特集展示 謎とき美術!最初の一歩

7月21日(土)～9月2日(日)／開館時間・休館日・観覧料は上記と同じ

■特集展示 百萬遍知恩寺の名宝

8月7日(火)～9月9日(日)／開館時間・休館日・観覧料は上記と同じ

コラム

歌舞伎のまち・四条

『西郷と豚姫』

苦境にある男に寄り添う
女の純情が何とも愛おしい

幕末の京都・三本木の揚げ屋に、「豚姫」という名で親しまれている仲居のお玉がいました。その愛称どおりの巨体でありながら気立ての優しい彼女が密かに想いを寄せているのは…薩摩藩の西郷吉之助(隆盛)なのでした。しかし、お玉には純情なところがあって、自分の気持ちをなかなか彼に示すことができずにいました。そんなある日、刺客に追われた西郷が揚げ屋に駆け込んできます。幕府にも主君にも理解されず失意の西郷に、お玉は思い切って想いを打ち明け、それぞれに同情を感じた二人は一緒に死ぬことを考えますが…。



鴨川を挟んだ対岸からかつて三本木の花街があった界隈を望む。



三本木は現在では静かな住宅街になっていて、吉田屋という料亭の跡だけが立札に残る。

お互いに巨体の男女が交わし合う人間愛に加え、おかしみと哀愁が漂う池田大伍作の新歌舞伎で、初演は大正6年(1917年)です。西郷は藩主から勘気を受け、その処遇をめぐって藩内が対立しているという事情があったのですが、揚げ屋に飛び込んできて「眠うてたまらん、寝させてくれ」と言い放つなど、命の危険にも動じぬ大胆不敵な人柄が印象的です。一方、恋する女としてのお玉の一途さ、可愛らしさにもぜひ注目していただきたい演目です。また、時代の風潮が自分の思いとかけ離れ、前途に希望を見いだせなくなっている西郷の姿と、貧しい家に生まれて幸少ない人生を歩んできたお玉の語りが同調してゆくのも見どころです。三本木はかつて花街として栄え、丸太町橋より北の鴨川堤ぞいにありました。あたりは全く様変わりしてしまいましたが、幕末には勤王の志士たちの密会所にもなったと伝えられています。年末の吉例顔見世興行に合わせて新しく生まれ変わる南座でも、いつか楽しんでみたい人情劇の名作です。



人や情報が交差する 四条河原町のランドマーク

四条河原町の交差点の東北角に位置する「koto+ (コトクロス) 阪急河原町」は、2007年にオープンした地上9階・地下1階の商業施設。コトは古都、クロスは人や情報が交差することを意味しています。館内には、和と炭焼き料理の「酉文」、料理教室「ABCクッキングスタジオ」、「女性専用フィットネススタジオBodies」、生パスタとデザートのバイキング「Sweets Paradise」、美容室「Jour」、「ディズニーストア」、ドラッグストア「マツモトキヨシ」、ベーカリーカフェ「サンマルクカフェ」、生麺工房「鎌倉パスタ」、「三菱UFJ銀行 ATM」があり、阪急河原町駅地下改札3番出口に直結しているので便利です。



コトクロス阪急河原町

京都市下京区四条通河原町角
管理／阪急阪神ビルマネジメント株式会社
TEL.06-6372-7851
【URL】<http://kotocross.hankyu.co.jp/>

400年の伝統技法が生む 世界に一つだけの文様



京滋はもちろん海外から訪れる人も多い京都店。

木目金とは、金属の色の違いを利用して木目状の文様を生み出す日本発祥の伝統工芸技術のこと。400年前の江戸時代に考案され、刀の鐔の装飾などに用いられてきたこの技をジュエリーとして提案してくれるのが「杢目金屋」です。代表の高橋正樹氏は木目金研究の第一人者でもあり、手づくりが生み出す唯一無二の文様の、世界に一つだけの婚約・結婚指輪として人気です。結婚指輪を作った同じ木目金の板からご両親向けのタイピンやネックレス、ベビージュエリーをつくることもできます。

杢目金屋京都四条店

京都市下京区四条通小橋西入ル真町77
TEL.075-241-3061
【営業時間】11:00~19:00 水曜定休 ※祝日は営業
【URL】<https://www.mokumeganeya.com/>

真町 (しんちょう)

町の南側一帯は平安末期までは崇親院領となっており、そののち祇園社(八坂神社)への参道として早くから開けていた。江戸初期の洛中洛外図では「旅通新町」とあり、宝永2年(1705年)には「真町」、天明6年(1786年)の絵図には「四条真丁」と記されている。

京野菜が楽しめる スパゲッティー専門店

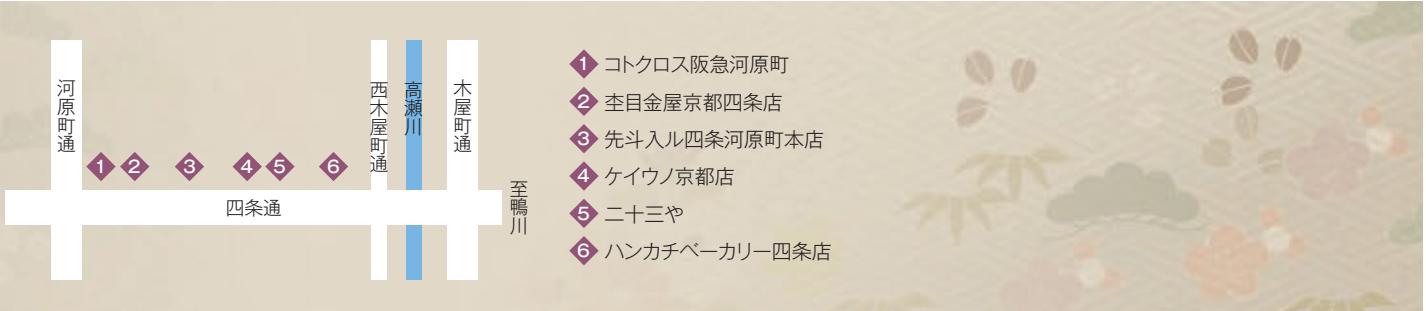
九条ネギや賀茂ナスなどの京野菜を使い、上品な昆布の旨味を効かせたソースやダシが人気のスパゲッティー専門店「先斗入ル」。四条河原町にあるお店は、その名の通り先斗町にほど近いこともあり、全国18店舗の本店になっています。クリーム系のメニューもしつこさがなく、あっさりと味わうことができ、コシのある細麺との相性も抜群。京風モダンな雰囲気のなかで、独創性あふれる20種類の味と季節のおすすめメニューが楽しめます。京野菜のサラダバーや、京風デザートと飲み物が選べるお得なセットもおすすめです。



塗りのような漆黒の外観と聖護院大根の暖簾が目印。

先斗入ル四条河原町本店

京都市下京区四条通小橋西入ル真町81
TEL.075-708-6341
【営業時間】11:00~23:00(L.O.22:30)
【URL】<http://www.pontoiru.com/>



一人ひとりに寄り添う クラフトマンシップを



個性的でいてどこか落ち着く店舗デザイン。

「ケイウノ」といえば日本最大級のオーダーメイドジュエリーブランド。オリジナルデザインのはほか、アレンジからフルオーダーまで幅広い要望に応えてくれます。とくに京都店は全国でも1、2を争う広いサロンスペースをもち、ゆったりと相談できるのはもちろん、パーティフロアや屋上ガーデンも併設。帶留めなどが人気なのも京都店ならではで、母や祖母から受け継いだジュエリーをリフォームしたいと持ち込む人も多いとか。経験豊富なデザイナーと、DIY(手作り)指導ができる職人が店舗に常駐しているのも心強いところです。

ケイウノ京都店

京都市下京区四条通小橋西入真町83

TEL.075-257-1022

【営業時間】11:00~19:00 火曜定休 ※祝日は営業

【URL】<https://www.k-uno.co.jp/>

舞妓さん愛用の京櫛は 海外の旅行客にも話題に

四条通随一の老舗として知られる櫛の専門店二十三や。一風変わった屋号は梳櫛を日本へもたらした中国の唐(トウ=十)とクシ(九・四)を足した数にちなんだもの。初代・半七郎が文政5年(1822年)に京都で櫛づくりを始めて以来、200年近くにわたって材質の良さと高い技術を受け継いでいます。黄楊の櫛は梳かしても静電気が起きないため髪を傷めず、使い込むほど通りがなめらかになります。舞妓さんにも愛用され、いまでは海外からのお客様も増えているとか。髪だけでなく、眉用、髭用など用途によって多彩な櫛が並び、ミニチュアの櫛を用いた根付ストラップも人気です。



ウインドーには季節の花とともにさまざまな櫛が並ぶ。

二十三や

京都市下京区四条通河原町東入ル

TEL.075-221-2371

【営業時間】10:00~20:00 不定休

ベーカリーでパンを選ぶように その日の気分でハンカチを



通るたび立ち寄りたくなるようなかわいらしさ。

ベーカリーで毎日食べるパンを選ぶよつとしたワクワク感。ハンカチをそんな気分で選べるお店として2014年にオープンしたのが「ハンカチベーカリー四条店」です。おいしいパンを作るパン職人がいるように、素敵なハンカチを作るのにもたくさんの職人がいて、日本各地でこだわりをもって一枚ずつ丁寧に作られています。お土産にぴったりな京都ハンカチだけでなく、婦人用、キッズサイズ、男性向けなどさまざまな種類がそろい、ハンカチに合わせたかわいい雑貨も並びます。自分用だけでなく、ギフト用にもぜひ。

ハンカチベーカリー 四条店

京都市下京区真町91

TEL.075-231-8056

【営業時間】10:30~20:30

【URL】<http://kyoto-souvenir.co.jp/>